



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	36,886	4.3	4,647	△2.3	4,164	△16.8	3,407	△1.0
2024年3月期第1四半期	35,381	16.9	4,757	57.5	5,003	54.5	3,443	1.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,734百万円(△1.6%) 2024年3月期第1四半期 3,796百万円(9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	31.95	31.87
2024年3月期第1四半期	31.73	31.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	197,868	108,581	54.1
2024年3月期	211,386	108,991	50.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 107,145百万円 2024年3月期 107,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	28.00	—	29.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,300	4.3	8,700	△7.2	8,400	△13.9	9,300	41.4	87.56
通期	152,700	4.1	18,800	1.1	18,900	△3.4	16,200	28.9	152.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	109,468,400株	2024年3月期	109,468,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,254,807株	2024年3月期	2,613,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	106,673,919株	2024年3月期1Q	108,547,545株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を受けて個人消費の持ち直しが見られたほか、インバウンド需要の増加などの後押しもあり、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、海外での政情不安や円安の進行、物価上昇といった懸念も継続しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、主力市場であるナイト市場・カラオケボックス市場を中心に、全体として緩やかに需要が回復するなかで、各商圈において中心地へ需要が集中する傾向はより顕著になりつつあります。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第1四半期の業績は、売上高は第1四半期における過去最高となる36,886百万円(前年同期比4.3%増)となりました。利益面におきましては、販管費の増加などの影響により、営業利益は4,647百万円(同2.3%減)、経常利益は4,164百万円(同16.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては3,407百万円(同1.0%減)となりました。

	(百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	35,381	36,886	1,505	4.3%
営業利益	4,757	4,647	△109	△2.3%
経常利益	5,003	4,164	△838	△16.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,443	3,407	△35	△1.0%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、主力市場であるナイト市場及び成長市場であるエルダー市場を中心として緩やかに改善が進んでおり、当第1四半期末のDAM稼働台数は、前年同期比2%増となりました。

そのようななか、市場ごとの施策を推進し、DAM稼働台数の増加に努めるとともに、前期に引き続き賃貸機器の新機種への入替を推進することにより、安定的収益基盤の強化に努めました。また、ライブ映像・アニメ映像・ミュージックビデオなどの映像コンテンツをさらに充実させることにより、カラオケDAMの商品力強化を図りました。

エルダー市場においては、「歌うこと＝健康」という認知が拡がり、介護施設等への訪問営業を通じてエルダー市場専用機である「FREE DAM LIFE(フリーダムライフ)」の拡販と、介護現場における職員の負荷軽減に繋がる新機能の訴求を進めました。

以上の結果、前年4月に発売した「LIVE DAM AiR(ライブダムアイアール)」の新商品効果が剥落し、卸売を中心とした商品販売売上が前年同期に及ばなかったものの、機器賃貸件数及びDAM稼働台数の増加に伴うストック収入が増加したことにより、売上高は前年同期比0.2%の増収となりました。利益面におきましては、商品販売粗利の減少や販管費の増加などの影響により、営業利益は前年同期比9.4%の減益となりました。

	(百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	15,393	15,418	24	0.2%
営業利益	3,719	3,370	△349	△9.4%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ2店舗、飲食4店舗の出店及び飲食4店舗の閉店を行ったことにより、当第1四半期末の店舗数はカラオケ508店舗、飲食159店舗となりました。

店舗の集客は、前期から緩やかな上昇傾向が継続しており、当第1四半期の既存店売上高はカラオケ店舗・飲食店舗とも前年同期比5%増となりました。

このようななか、ビッグエコー店舗においては“BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなともっと”をスローガンに掲げ、メーカー直営店としてカラオケ機器、音響設備のクオリティを高めるとともに、店舗リニューアルの推進により綺麗で快適な店舗環境の構築を図りました。また、自動受付機・精算機の導入を促進し、利便性の向上を図るほか、「ビッグスマイルキャンペーン」として多様なアーティストやアニメ作品とのコラボレーション企画等を積極的に展開し、カラオケを通して様々な喜びと楽しさの創出に努めました。

飲食店舗においては、お客様の意見を簡便に収集・数値化できるシステムを活用した顧客満足度の見える化を進め、店舗環境、接客サービス、料理のクオリティ向上を図りました。また、ダーツ業態である「ダーツワン」2店舗を出店するなど、幅広く集客の獲得を推進しました。

以上の結果、売上高は前年同期比5.1%の増収となり、営業利益は前年同期比14.4%の増益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	15,012	15,779	766	5.1%
営業利益	1,219	1,394	175	14.4%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めました。

以上の結果、売上高は前期に行った株式譲渡によってTV番組制作事業が剥落したことにより、前年同期比15.1%の減収となりましたが、CD・DVD等の商品販売や音楽出版事業については堅調に推移し、営業利益は前年同期比71.5%の増益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	1,571	1,333	△237	△15.1%
営業利益	61	104	43	71.5%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とするべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、前期に子会社化したしました(株)クレストも含め、当第1四半期末時点で3,400施設、38,000車室を超える規模に拡大いたしました。また、「スターデジオAir」等で展開するBGM事業や、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」についても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入が増加したことなどにより前年同期比28.0%の増収となり、営業利益は前年同期比36.6%の増益となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	3,404	4,356	951	28.0%
営業利益	414	566	151	36.6%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13,517百万円減少し、197,868百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が16,474百万円減少し、その他に含まれる前払費用が1,536百万円増加しております。

固定資産ではカラオケ賃貸機器が513百万円及びカラオケルーム及び飲食店舗設備が563百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ13,107百万円減少し、89,287百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では支払手形及び買掛金が1,002百万円及び未払法人税等が2,548百万円それぞれ減少しております。

固定負債では長期借入金が10,084百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ410百万円減少し、108,581百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3,407百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,098百万円及び自己株式の取得による減少1,062百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、本日(2024年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,694	33,220
受取手形及び売掛金	5,894	5,674
棚卸資産	11,216	10,931
その他	7,005	7,967
貸倒引当金	△331	△289
流動資産合計	73,479	57,504
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	9,122	9,636
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	10,875	11,439
土地	40,111	40,111
建設仮勘定	32,120	32,246
その他（純額）	7,002	7,374
有形固定資産合計	99,233	100,808
無形固定資産		
のれん	5,668	5,515
その他	5,616	5,653
無形固定資産合計	11,285	11,168
投資その他の資産		
投資有価証券	6,060	6,653
敷金及び保証金	14,341	14,376
その他	7,112	7,479
貸倒引当金	△126	△122
投資その他の資産合計	27,388	28,386
固定資産合計	137,906	140,363
資産合計	211,386	197,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,332	3,330
短期借入金	12,885	12,950
未払法人税等	4,746	2,198
賞与引当金	1,214	658
その他	13,735	14,735
流動負債合計	36,914	33,872
固定負債		
長期借入金	51,533	41,449
役員退職慰労引当金	666	524
退職給付に係る負債	7,986	8,101
資産除去債務	1,879	1,865
その他	3,414	3,476
固定負債合計	65,480	55,415
負債合計	102,394	89,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	96,350	96,659
自己株式	△6,571	△7,633
株主資本合計	106,340	105,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,466	1,741
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	188	235
退職給付に係る調整累計額	320	314
その他の包括利益累計額合計	1,240	1,557
新株予約権	374	398
非支配株主持分	1,035	1,037
純資産合計	108,991	108,581
負債純資産合計	211,386	197,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	35,381	36,886
売上原価	22,355	23,549
売上総利益	13,026	13,337
販売費及び一般管理費	8,269	8,690
営業利益	4,757	4,647
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	54	83
受取保険金	10	43
受取協賛金	60	52
為替差益	19	-
その他	167	195
営業外収益合計	316	377
営業外費用		
支払利息	37	109
為替差損	-	13
解約違約金	2	1
助成金返還損	-	653
その他	30	82
営業外費用合計	70	860
経常利益	5,003	4,164
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	-	891
特別利益合計	1	895
特別損失		
固定資産処分損	36	30
減損損失	20	20
特別損失合計	56	51
税金等調整前四半期純利益	4,948	5,008
法人税、住民税及び事業税	1,738	2,000
法人税等調整額	△240	△409
法人税等合計	1,497	1,590
四半期純利益	3,450	3,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,443	3,407

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	3,450	3,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291	275
為替換算調整勘定	55	47
退職給付に係る調整額	△1	△5
その他の包括利益合計	345	316
四半期包括利益	3,796	3,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,789	3,724
非支配株主に係る四半期包括利益	6	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,393	15,012	1,571	31,976	3,404	35,381	—	35,381
セグメント利益 (営業利益)	3,719	1,219	61	5,000	414	5,414	△657	4,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△657百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,418	15,779	1,333	32,530	4,356	36,886	—	36,886
セグメント利益 (営業利益)	3,370	1,394	104	4,869	566	5,435	△788	4,647

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△788百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	2,747百万円	3,282百万円
のれんの償却額	18	134
負ののれんの償却額	0	0

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2024年7月29日開催の取締役会において、保有資産の譲渡について決議し、同日付で売買契約を締結しております。

(1) 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、当社が保有する以下の固定資産を譲渡するものです。

(2) 譲渡の内容

① 譲渡する相手会社の概要

名称	三井不動産レジデンシャル株式会社
所在地	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号
代表取締役・氏名	代表取締役社長 嘉村 徹
事業内容	中高層住宅事業、戸建住宅事業、賃貸住宅事業ほか
資本金	400億円
設立年月日	2005年12月26日
当社と当該会社の関係	譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はございません。

② 譲渡資産の内容

所在地	東京都品川区東五反田二丁目451番1～4号、452番1号
資産の種類	土地 (1,732.87㎡)
現況	パーキング用地
譲渡日	2024年9月6日(予定)
譲渡価額	8,500百万円

(3) 連結損益に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴い、2024年9月において、固定資産売却益4,390百万円を特別利益に計上する予定であります。